



(4) 交流・活動の支援



事業名	G-NETカフェ 女性史カフェ(ジェンダーコロキウム2023)				
事業形態	(主催) 滋賀県立男女共同参画センター		(共催) -		
目的	日々の暮らしの中にある課題について、ともに考え活動するつながりの場づくりを進めるため、男女共同参画の視点を大事にしつつ、当センターと様々な主体が連携して開催する。				
対象者	G-NETしが推進員、しがWO・MANネット登録団体担当者、一般県民				
日時	日時 令和5年 3月19日(日) 13:30~15:30				
内容	テーマ 「紫式部の悩み・清少納言の愚痴」				
	講師 京樂 真帆子 さん 講師所属等 滋賀県立大学人間文化学部教授				
場所	滋賀県立男女共同参画センター 研修室BC				
参加者数	女性	20人	男性	5人	その他 0人 計 25人



(4) 交流・活動の支援

事業名	6センター連携事業会議									
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター			(共催)ー						
目的	県内6つの男女共同参画センターが事業をより効果的に進めるため、担当者による定期的な交流の場をもち、情報共有や広報協力ができるようにする。									
対象者	各センターの担当者									
日時	回数	日時	テーマ・内容			場所				
	1	4月22日 (金)	本年度の事業について ・本年度の会議の日程の確認 ・取組について ・各センター事業について			滋賀県立男女共同参画センター 特別会議室				
	2	9月16日 (金)	男女共同参画週間のふり返り 情報交換(今後の事業等について)			彦根市男女共同参画センター「ウィズ」				
内容	3	2月3日 (金)	今年度の事業について(成果と課題) 今後の連携について ・次年度の参画週間の取組について			草津市立市民総合交流センター 「キラリエ草津」303会議室				
	参加者数	4月22日	女性	8人	男性	2人	その他	0人	計	10人
		9月16日	女性	7人	男性	1人	その他	0人	計	8人
2月3日		女性	7人	男性	2人	その他	0人	計	9人	
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各センターの取組をもっと周知できないか。→ 広報等で周知していく</li> <li>・キーワードは「居場所」「つながり」「男性の受け皿」か。</li> <li>・国や県と連携して週間の認知度を上げ、より一層の周知や啓発の効果を図れるような新しい連携事業の実施が必要だと感じる。</li> <li>・メインテーマを統一し、「全体でやった」という達成感を感じられるように。</li> <li>・滋賀のコイン「ビワコ」をセンターの周知に使えないか。</li> <li>・BBCの「アミンチュTV」(サークル活動の紹介)と連携して何かできないか。</li> <li>・人が集まる講座とそうでない講座があるのを実感している。事業の周知がやはり今後の大きな課題のひとつ。</li> <li>・性教育への要望にどう応えていくか。</li> <li>・まちのコイン「ビワコ」の6センタースタンプラリーへの活用について、次年度の4月の会議で協議を深めたい。</li> </ul>									



(4) 交流・活動の支援

事業名	G-NETしが推進員・しがWO・MANネット団体会議および交流会								
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター			(共催)ー					
目的	登録団体が情報交換を行い、団体間の連携や自主的な活動の推進を図る場を設けるとともに、推進員のスキルアップのための学習機会をもつ。								
対象者	しがWO・MANネット登録団体、G-NETしが推進員								
日時	回数	日時		テーマ・内容					
	1	5月14日	(土)	令和4年度の施策および活動内容等について ・女性活躍推進課の事業について ・生涯学習課の事業について ・男女共同参画センターの事業について 令和4年度の活動に向けて ・G-NETしが推進員、しがWO・MANネット設置要綱について ・しがWO・MANネット講座募集要項について ・G-NETしがフェスタについて 全体交流会 ・自己紹介、団体紹介等 質疑・応答					
内容	2	3月19日	(日)	令和4年度の活動報告 ・講座およびフェスタの報告 ・しがWO・MANネット講座開催概要報告 令和5年度事業について ・主催事業について ・次年度登録について 意見交流					
	場所	滋賀県立男女共同参画センター 視聴覚室、研修室BC							
参加者数	5月14日	女性	20人	男性	7人	その他	0人	計	27人
	3月19日	女性	18人	男性	5人	その他	0人	計	23人
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の継続就労のための取組についてより真剣に考えていくべき。</li> <li>・「政策決定の場に女性を」という声に応えていく県であってほしい。</li> <li>・県と各市町が今後より連携していけるとよい。</li> <li>・「居場所」を求めておられる方が多いことを実感している。</li> </ul>								

